

3期目をめざす町長の所信を問う

具体的な政策や未来構想は、まだ示されない



坂元 正春 議員

坂元議員

3期目をめざしての主な政策は何か。大崎町の未来構想を示して欲しい。

町長

具体的な政策や本町の未来構想を示す状況にはまだ至っていない。本町も年々高齢者の割合が高くなってきている。出生率の低下、若年層の流出により、少子化に対するきめ細かな対応と共働共助の社会システムの構築が課題である。本町の基幹産業である農業、商工業など町内産業の振興、町民の生命と財産や災害や事故等から守る安全・安心対策、次代を担う子供の教育環境問題等、基本的には「人」を中心において課題解決に取り組む考えである。

「町民と語る会」開催の考えは

坂元議員

現場の声を聞く「町民と語る会」を定期的開催する考えはないか。



町政座談会

今後も続けたい

町長

町民と対話することは必要である。機会を捉え直接対話の場を設けたい。できれば出前対話的な場をつくりたい。

中心市街地の開発構想は

坂元議員

既存の商店街が年々衰退し、商店の機能が失われている。せめて城南通り繁華街・中央通り商店

街の再生はできないか。

都市計画マスタープランに沿って

町長

市街地の再開発は大変厳しい状況にある。空き店舗の活用方法等、商店街を魅力あるものにする環境整備を真剣に議論する必要がある。中心市街地の活性化を図るため、町民・商業者・商工会・関係団体と連携しながら進めたい。

町民体育祭について

坂元議員

町民体育祭の開催については、町民の間で様々な意見が聞かれるが、見直しの時期に来てないか。検討してみる

町長

町民の健康増進と生涯スポーツの振興、町民相互の親睦と融和を図る体育祭として実施しているが、今後は様々な意見もあり、関係機関等で体育

祭のあり方を検討している。

校区長制度を創設する考えは

坂元議員

10年〜20年後を見据え、新しい組織の体制を整える「校区長制度」を創設する考えはないか。

既存の組織で行政支援を

町長

既存の集落・地域・校区の組織体制に大きな変化が生じる事や組織が大きくなり過ぎて弊害が生じることも懸念される。しかし、高齢化の影響で集落活動の運営上、既存の組織体制や運営状況の見直し、新しい行政区劃りの検討は必要である。

太陽光発電の設置の考えは

坂元議員

太陽光発電のシステム化導入について、公共施設・学校等に設置する事

は考えていないか。

新エネルギーへの転換は必要

町長

本町では現在、「大崎町地域新エネルギービジョン策定委員会」を立ち上げ協議をしている。太陽光発電は有力な次世代エネルギーの位置付けがされており、導入に向け推進したい。



太陽光を利用した発電システム

その他の質問

○町道整備について
○学校現場の諸問題について
○公民館活動の諸問題について